



2025年度 事業報告

公益財団法人東京YWCA

目次

東京YWCA 2025 年度アクションプラン	1
I 平和と人権事業.....	2
日本で学ぶ外国人留学生支援／留学生助成／中国帰国者日本語支援／平和をつくるキャン ペーン／平和と人権に関する人材育成／NPO/NGO 団体への語学支援	
II 青少年育成事業.....	6
教育キャンプ／体験学習／学習支援／青少年リーダー養成	
III 女性の健康事業.....	9
女性の健康づくり／疾患後の女性の健康づくり／障がい児・者の健康づくり	
IV 社会福祉に資する事業.....	10
療育（NPO 支援）／発達支援相談／発達支援体験／障がい児家族支援体験／高齢者電話相談／ 読むことが困難な人々への支援（DAISY）／地域における居場所／療育（児童発達支援セン ター）／障がい児・者介護／高齢者介護／介護予防体験／統合保育／学童保育	
V 非営利機関・団体への施設貸与事業	14
VI 公益目的事業共通.....	14
事業に参加したボランティア	
VII 収益事業および共益的な事業.....	15
不動産賃貸／フィットネスクラブ／語学事業及び教養講座／販売／東京YWCA 会員グループ活動事業	
VIII 法人管理.....	16
会員数／職員数／広報物／世界YWCA・日本YWCA 関連の集会・研修等への派遣／ YWCA 関連の海外からの来訪者	
2025 年度公益財団法人東京YWCA 組織図.....	17
理事・監事・評議員	17
財務諸表	18
事業を行っている主な拠点	

東京YWCA 2025 年度アクションプラン

東京YWCAは、加盟する日本YWCAのビジョン・ミッション・バリュー（※）の下に、4年間（2025～2028年度）の目標と2025年度のアクションプランを以下のとおり掲げた。

4年間の目標（2025～2028年度）

平和を実現する仲間を増やす

アクションプラン（2025年度）

平和を実現する仲間のひとりとして学び、参加し、つながろう

加盟する日本YWCA・世界YWCAや関係団体と連携し、国際NGOとして、またキリスト教基盤に立つ団体として、東京YWCAの定款に定めた目的である「すべての人びとのために自由と尊厳、正義と平和を実現する」ために、後述する各公益目的事業を柱として事業を実施した。内外の目まぐるしい環境変化に柔軟に対応し、多くの皆さまの支援と協力を得ることで、社会で求められる必要な活動を継続し、社会変革に向けて取り組むことができた。

東京YWCAは120周年を迎え、これまで毎年度掲げていた「基本方針と重点課題」を、具体的な実践を目指す行動計画「アクションプラン」とすることで、事業活動の進むべき方向が明確になり、法人をあげて取り組むことにつながった。

（※）日本YWCA第34総会期（2024年11月の日本YWCA全国会員総会から4年間） 主題聖句・ビジョン・ミッション・バリュー

主題聖句 平和を実現する人々は幸いである —マタイによる福音書5章9節

ビジョン 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にす社会

ミッション 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤
すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣（なら）って行動します。
2. 平和・環境
アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。
3. 人権
人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。
4. セーフスペース
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

I 平和と人権事業 (公益目的事業 事業番号: 公1)

この事業は、平和、非暴力、非核、非戦を訴え、人権が尊重され、すべての人が共に生きる世界の実現を目指し、社会で不当な圧力を受けやすい人々を支援する事業です。

1. 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

1人の留学生と1人の東京YWCA会員(母親)による今年度の新規「組み合わせ(家庭交流)」は、例年通り6月に実施した。10月に、留学生との家庭交流をする上で、悩みや迷いについて会員同士で意見交換を行い、経験ある会員がアドバイスした。1月にボランティア研修の一環で都内の日本語学校関係者から、東南アジアや南アジアからの留学生の増加傾向や、次年度以降の国費留学生受け入れ体制などの話を聞く会を開いた。

留学生相談室は、相談員養成が出来なかったため休室した。留学生や会員からの相談の問い合わせは、事務局が対応した。留学生談話室は通常の談話室のほか、夏祭り、クリスマス、節分等の行事を体験するプログラムも実施した。

2. 留学生助成事業

東京YWCA「留学生の母親」運動奨学金は、5人に支給した。5人の抱負は、国際・社会問題を発信する職を目指す、世界の文化を広げていく学芸員になる、高齢者や障がいのある人が安心して暮らせるまちづくりの設計、多様な外国人に対応できるキャビンアテンダントやホテルスタッフになる、女性の権利や平和について発信するジャーナリストになる等であった。11月に奨学生の前期の様子を聞く報告会を開催した。夏休みのアルバイトや資格取得のための勉強の報告を聞き、参加した先輩留学生から奨学生に就職活動やインターシップ等の体験を交えながらアドバイスがあった。1月には寄付者を招き、奨学生が1年間の成果を報告する会を開いた。

3. 中国帰国者日本語支援事業

日本語学習サロンは、主に日本語教室を修了した高齢の帰国者を対象に日本語の運用力を身につけ、社会参加をうながすことを目的に8月を除き、年間を通して月に2回対面で開催した。帰国者の毎月の参加は3人となっている。

4. 平和をつくるキャンペーン

平和、非暴力、非核、非戦の啓発活動は、6月に沖縄慰霊の日をおぼえて、SNSでキャンペーンを行った。また国領センターで上映会『ベアテの贈りもの』を開催、7月には、会館

ロビーで中国帰国者パネル展示会を実施した。10月には、「琉球弧・宮古島の軍事要塞化と戦争準備」と題して講演会、11月の武蔵野市民平和月間では、「日米地位協定と私たち」と題して講演会を開催した。1月に第42回憲法カフェを、「憲法と教育」をテーマに実施した。

「女性の人権勉強会」企画会は、3月8日の国際女性デーにちなみ、「母性」をテーマにサロン・ド・ミモザの集会和上映会『黒川の女たち』の2つを企画・実施した。

Christmas for Peaceでは、「暗闇の中に平和を宿す」というタイトルで増田琴牧師(日本キリスト教団経堂緑岡教会)からメッセージを聞いた。分断と孤立の社会にあっても「それでもなお」というあり方へ転換し祈り続け、共に生き、分かち合う社会を創り出す大切さが示唆された。

HIV/AIDS 啓発のためのキャンペーンは、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

女性のリーダーシップ事業は、10月に女性の人権について知って、考える講演会&ワークショップ「ジェンダー平等の今」を開催し、1か月後にフォローアップ&ステップアップの集会を実施した。

紛争・災害時緊急支援事業は、2022年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻と2023年10月から続くイスラエルによるガザ市民へのジェノサイドに対し、4月にドキュメンタリー映画『ガザからの報告』上映会を行った。また、ウクライナの子どもたちの絵画展は全国18か所で開催された。ポーランドに避難したウクライナの子どもたちの学童クラブで不足している画材の募集も行った。東日本大震災から15年を迎え、風化を防ぐプログラムとして、ドキュメンタリー映画『津島一福島は語る・第二章』を上映し、放射能被害によって失われた日常を当事者の声を通して聴き、参加者同士の交流会でそれぞれに感じたことを分かち合った。

5. 平和と人権に関する人材育成事業

支援者エンパワメントプログラムでは、新たに3人のトレーナーを迎え、DV被害者を支援する支援者の育成・サポートを目的とした研修を2回開催した。また、支援に携わる人々が集い、さまざまな思いや気持ちを分かち合う「支援者サロン」も、2回開催した。

インターンシップ事業では、7月から3月にかけて大学生2人を受け入れ、DVやDV被害者支援について学ぶプログラムを実施し、社会に貢献できる人材の養成に努めた。

HIV/AIDS啓発のための人材養成は、今年度は具体的な取り組みは実施しなかった。

※支援者エンパワメントプログラムは、運営費の一部に、東京都「令和7年度東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業」助成金を受けて実施した。

6. NPO/NGO団体への語学支援

英語の和訳・通訳を行うボランティア（いるぶメンバー）に今年度は46人が登録して活動した。依頼された案件は、すべて期限までに納品することができた。年間7件の依頼があった。6月にいるぶメンバーを対象に「いるぶカフェ」を開催し、これまでも翻訳の依頼のあったマイノリティー宣教センターから共同主事を迎え、活動内容を伺い、依頼団体の理解を深めることができた。英訳スキルアップ講座は年2回開催した。

I-1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業

家庭交流

「組み合わせ」内訳(人)

会員	24
留学生	24

(留学生2人担当の会員 0)

「組み合わせ」の会員内訳(人)

新会員	8
2年目以上の会員	16

「組み合わせ」の留学生内訳(人)

国費生 (文部科学省)	0
日本語学校	6
専門学校	5
大学	10
大学院	2
大学院 (国費奨学生)	1

留学生組み合わせ出身国・地域

国・地域	人数	女性	男性
中国	8	4	4
ベトナム	4	4	0
台湾	2	1	1
中国(香港)	1	0	1
マレーシア	2	0	2
トルコ	1	0	1
韓国	1	0	1
ネパール	1	1	0
インドネシア	2	1	1
イギリス	1	0	1
シンガポール	1	0	1
計	24	11	13

奨学生資金貸与	前年度より継続返済	0	
	新規	長期貸与	0
		短期貸与	0
奨学生資金供与		3	

支援事業の年間プログラム	日にち	延参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
家庭交流について留学生向け説明会	4/23	5	19	1	25
留学生対象:組み合わせ申込者の面接	5/10、5/17	6	24	-	30
初めての交流ガイダンス(新会員向け)	6/7	10	-	-	10
対面の会	6/7	39	22	4	65
会員交流会(留学生に関する情報交換)	8/2	9	-	-	9
お母さんのおしゃべり会(家庭交流における情報交換)	8/30	7	-	-	7
組み合わせによる交流についての懇談会(新入会員対象)	10/4	5	-	-	5
留学生対象:ホームビジット申込者の面接	11/15	4	3	-	7
留学生による日本語発表会	12/13	20	8	0	28
ホームビジット	1/1、1/2	3	3	0	6
母の会	1/24	36	-	-	36
卒業お祝い会	2/21	6	4	0	10

※留学生相談室:開室なし

	延回数	延ボランティア数		延参加者数	
		会員	一般	留学生	一般外国人
留学生談話室(日本語支援)	31	244	53	315	9
日本語個別支援	360	360	0	360	0

広報物の発行：あゆみ91号（発行部数400）

I-2 留学生助成事業

「留学生の母親」運動奨学金

応募者数	136
支給奨学生内訳〔国・地域別〕	
中国	1
中国(香港)	1
ミャンマー	3
計	5

	日にち	参加者数			
		会員	留学生	一般	合計
第1回奨学生報告会	7/26	13	8	22	43
第2回奨学生報告会	11/1	4	7	3	14
奨学生の集い	1/17	13	6	0	19

I-3 中国帰国者日本語支援事業

日本語サロン

延回数	延ボランティア数	延参加者数
21	52	53

I-4 平和をつくるキャンペーン

クリスマス	日にち	場所	参加者数
Christmas for Peace	12/6	東京YWCA会館／オンライン	35
センタークリスマス(板橋センター)	12/10	板橋センター	21
センタークリスマス(国領センター)	12/12	国領センター	33
センタークリスマス(武蔵野センター)	12/19	日本キリスト教団南三鷹教会	13

憲法カフェ	日にち	講師	場所	参加者数
第42回憲法カフェ「憲法と教育」	1/31	斎藤一久	東京YWCA会館	155

沖縄関連プログラム等その他	日にち	講師等	場所	参加者数
SNSアクション2025／沖縄慰霊の日を覚えて	6/17～6/27	-	Instagram(SNS)	-
SNSアクション特別企画「CSW69で沖縄の基地問題を伝えてどうだった？」	6/23	東上奈々子、安野伊万里、沖崎あいみ	オンライン	25
「琉球弧・宮古島の軍事基地化と戦争準備」	10/16	清水早子	東京YWCA会館	43
日米地位協定と私たち～沖縄からの提案～	11/29	崎浜空音	武蔵野センター／オンライン	47
映画『ベアテの贈りもの』上映会	7/12	-	国領センター	24
中国帰国者パネル展示会	7/23～7/28	-	東京YWCA会館ロビー	入場自由

女性の人権勉強会	日にち	講師	場所	参加者数
サロン・ド・ミモザ	3/7	河越英里	東京YWCA会館	8
映画『黒川の女たち』上映会	3/13	松原文枝(※)	東京YWCA会館	184(※※)

※ 3回上映の2回目に登壇。

※※ 3回上映合計。

女性のリーダーシップ	日にち	講師	場所	参加者数
講演会&ワークショップ「ジェンダー平等の今」	10/18	引間紀江	東京YWCA会館	14
「フォローアップ&ステップアップの会」	11/22	-	東京YWCA会館	7
まきばカフェ「歌おう讃美歌、知ろう讃美歌」	3/28	江原美歌子	国領センター	12

紛争・災害関連	日にち	講師等	場所	参加者数
映画『ガザからの報告』上映会	4/12	土井敏邦	東京YWCA会館	111
ウクライナの学生と日本の学生のオンライン交流会	8/30	協力:サンスター日本語学校	オンライン	19
風化を防ぐプログラム『津島-福島は語る・第二章』上映会	3/28	-	東京YWCA会館	64
〃 上映会参加者交流会	3/28	-	東京YWCA会館	32

他団体との協力	日にち	場所	参加者数
0422市民クリスマス	12/13	日本キリスト教団吉祥寺教会	160

※他団体との共催で参加者は概数。

I-5 平和と人権に関する人材育成事業

支援者サロン(DV被害者支援者の交流の場)

延回数	延参加者数
2	15

DVサバイバーと協働するための支援者トレーニング

	日にち	講師数	受講者数
支援者トレーニング(全2日間/計14時間)※	7/19~7/20	3	26
支援者トレーニング(全2日間/計14時間)※	2/21~2/22	5	16

※内容 1日目 :「DV、サバイバーを理解する」(社会問題としてのDV、社会的抑圧、DVのからくり、サバイバー心理など)

2日目 :「支援に必要なスキルを学ぶ」(サバイバー中心の支援、支援倫理、サバイバーの安全確保、必要な技法、セルフケアなど)

オーダーメイド研修

依頼元	延回数	延講師数	延受講者数
社会福祉法人 特別区社会福祉事業団 宿所提供施設 小豆沢荘	1	1	8

インターンシップ

インターン生の人数	2
-----------	---

内容	DV講習	①DVの基礎 ②DV被害者支援の現場を知る ③若年女性支援について知る
	交流	①中高YWCAカンファレンスへの参加 ②日本YWCAの活動について聞く
	その他	事務局サポート、「女性に対する暴力をなくす運動」啓発活動、賛育会病院見学、フォーラム横浜訪問、修了報告会

I-6 NPO/NGO団体への語学支援

依頼団体	依頼の種類	依頼内容
国連NGO国内女性委員会(CSW)	翻訳	CSWサイドイベントにおけるスピーチの翻訳(英⇒日)
公益社団法人Civic Force	翻訳	Newsletter vol.35、36、37(日⇒英)
認定NPO法人国境なき子どもたち(Knk)	翻訳	「ほほえみドロップインセンター」保護者へのアプローチ、他
認定NPO法人国境なき子どもたち(Knk)	翻訳	2024年度年次活動報告書(日⇒英)
日本キリスト教団部落解放センター	翻訳	「第26回部落解放ユースゼミナール報告書」全体の報告と参加者の感想文
認定NPO法人フローレンス	翻訳	寄付金控除案内文(日⇒英)
日本キリスト教協議会(NCC)女性委員会	翻訳	2026世界祈禱日パンフレット

	延回数	延講師数	延参加者数
翻訳研修会	2	2	34

Ⅱ 青少年育成事業 (公益目的事業 事業番号：公2)

この事業は、子どもたちの固有の人格をかけがえのないものとして尊重し、他者と共に生きるグローバルな視点をもった人として全人格的に成長していくことを支援する事業です。

1. 教育キャンプ

ゴールデンウィークに実施したキャンプ場整備のためのワークキャンプには延べ 20 人のボランティアが集まり、野尻の夏が始まった。今年度は熱中症対策として、特に野外のプログラム中には定期的に水分補給をする時間をとった。

各キャンプにはグループワークをより実践しやすくするためのテーマがあり、わいわいキャンプでは「森の探検隊」、チャレンジキャンプでは「野尻万博」、中高生ガールズキャンプでは「ノジリアンナイト」がそれぞれ設定され、工夫を凝らしたプログラムが展開された。

冬休みスキーキャンプは、自然の降雪が足りない場合でもスキーができるように、開催地を降雪機のある菅平高原に移した。小学生は冬休みと春休みともに申込みが定員を上回ったために増枠し、中高生も冬休みは満員となった。スキーキャンプでもそれぞれにテーマが設定されており、同じグループのお友だちとさまざまな場面で協力し合う生活を体験した。

夏も冬も春も継続して参加しているキャンパーが多くなり、キャンプの楽しさを体現することで雰囲気盛り上げている。また、大学生のグループカウンセラーはもちろん、卒業後に社会人になっても継続して参加するリーダーが増え、子どもたちの憧れの存在となっている。

春夏秋のゆかりステイは、四季折々の野尻を楽しめることで大人やファミリーに人気のプログラムとして定着してきた。

2. 体験学習

青少年水泳は、心身の健全な成長を目指し泳力を養うことを目的にスイミングとアーティスティックスイミング (以下 AS) の講習を実施した。ジュニアは初心者ニーズが高く、3 クラス共に各期満員だった。7 月には自分の身を守るための着衣泳を行い安全教育に力を入れた。最終日には自由時間を設け、記録証を手渡した。3 日間の短期講習は春、夏休み共に盛況だった。ティーンズは水泳が苦手な小学生の参加が多かったが、出席率がよく泳力が向上した。中学生は部活動や試験との兼ね合いで欠席が多かった。AS は昨年に比べると受講生が増えた。小中学生の仲もよく、チームでルーティンを作り上げ、各期の最終日には保護者が見守る中、練習の成果を発表した。

3. 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもたちへの日本語・学習支援「いちごの部屋」は、毎週火曜、木曜、土曜に武蔵野センターでの対面支援を中心に、一部オンラインも並行して、幼児から高校生までの幅広い年齢層の子どもたちを支援した。保護者からも日本語や慣習について学びたいという支援希望が増えているが、保護者の受け入れは 2 人に留めた。代わりに、保護者が地域のことや学校、生活のことなどを自由に話せる場として、ペアレンツ・カフェを年 9 回実施した

「外国にルーツのある子どもたちのためのサマーキャンプ」は、昨年度に続き、東京YMCA多文化共生▽ (さんかく) と共同開催し、多数の応募の中から抽選で 29 人の子どもが参加した。いちごの部屋からは 2 人の子どもとリーダー 1 人、職員 1 人が参加した。

支援ボランティアは年間で 41 人が参加し、うち 16 人がユース (学生・20 代社会人) だった。「いちごの部屋ユース会議」が主体となってクリスマス会を企画・実施し、子どもたちにとっても好評だった。毎週参加するボランティアも増え、安定した支援につながっている。

今年度も、津田塾大学の日本語教員養成課程の授業に学習支援いちごの部屋委員会の委員・元委員 4 人と職員がゲスト講師として参加した。また、学習院女子大学の「ボランティア演習」の授業にユース 1 人と職員が参加し、知らない言語を書く・読む体験や、教科書の言葉をやさしい日本語に変換するなどの日本語・学習支援の活動体験の機会を提供した。

4. 青少年リーダー養成

野尻キャンプ場で実施したリーダートレーニングキャンプでは、実際に子どもたちとキャンプを体験しながら、各プログラムの安全面やサポート方法を講義と実技で学んだ。

夏以外の季節には、千鳥ヶ淵ボート場でボート練習、千代田区立スポーツセンターでアーチェリー練習、GALA湯沢スキー場でスキーリーダートレーニングなどを実施し、個々のリーダーのスキル向上と指導技術の継承を進めた。

グループカウンセラーの経験を積んだ大学生リーダーたちが、プログラムディレクターとして活躍する場面が増え、OJT の効果が出始めている。

II-1 教育キャンプ

*人数は実数

プログラム	開始日	日数もしくは終了日	参加者数			リーダー・講師数	参加人数合計
			女	男	合計		
教育キャンプ(東京YWCA野尻キャンプ場:長野県野尻湖畔)							
こどもキャンプ (信濃町小学校の子ども対象)	7/21	7/22	17	12	29	15	44
わいわいキャンプ (小学1年~3年男女)	8/1	8/4	15	10	25	18	43
チャレンジキャンプ (小学3年~6年男女)	8/7	8/11	26	14	40	18	58
中高生ガールズキャンプ (中学1年~高校3年女子)	8/12	8/17	11	0	11	10	21
教育キャンプ(野尻キャンプ場以外:菅平高原スノーリゾート(長野県))							
冬休み小学生スキーキャンプ	12/26	12/29	23	9	32	13	45
冬休み中学生スキーキャンプ	12/26	12/29	9	6	15	4	19
春休み小学生スキーキャンプ	3/27	3/30	21	14	35	15	50
春休み中学生スキーキャンプ	3/27	3/30	8	2	10	3	13
体験プログラム(東京YWCA野尻キャンプ場)							
春のゆかりステイ	4/26	4/29	9	5	14	0	14
夏のゆかりステイ	8/22	8/24	15	2	17	0	17
秋のゆかりステイ	11/1	11/3	7	5	12	0	12
他団体からの委託キャンプ							
野尻キャンプ場を提供しYWCAのキャンプリーダーを派遣して行うキャンプ							
HVPCインターナショナルスクール同好会	7/25	7/27	18	17	35	4	39
竜ヶ崎教会野尻キャンプ	8/17	8/20	13	16	29	3	32

II-2 体験学習

子ども会

	延回数	延ボランティア数	延参加者数
あそびむし(東京YWCA会館)	休止	-	-
子どもクラブももたろう(国領)	休止	-	-

みんなで楽しむアウトドアライフ(親子対象日帰り自然体験)

※休止

青少年水泳

	延回数	延参加者
ジュニアスイミング (小学1年~4年の男女)	114	1712
ジュニアアーティスティックスイミング (小学3年~中学3年の女子)	38	467
ティーンズスイミング (小学4年~中学3年の女子)	38	431
ジュニア短期講習(夏) (小学1年~4年の男女)	6	85
ジュニア短期講習(春) (新小学1年~新4年の男女)	3	48

Ⅱ-3 学習支援

日本語を母語としない親を持つ子どもとその保護者を対象にした日本語および学習支援

登録数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども(6歳から13歳)	14	15	16	17	16	18	18	19	20	20	20	20	-
" (14歳から18歳)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	-

運営実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開室日数	12	11	12	14	9	12	12	13	11	10	11	13	140	
参加者 (延数)	子ども(6歳から13歳)	45	36	33	46	39	39	48	58	49	51	48	55	547
	" (14歳から18歳)	4	3	2	3	0	1	4	4	3	4	9	14	51
	保護者	5	6	4	3	1	6	4	7	3	4	4	2	49
ボランティア (延数)	会員	24	23	19	22	22	24	21	25	22	29	24	21	276
	一般	38	35	49	30	23	25	23	38	39	29	37	40	406

特別プログラム(外出プログラムなど)

	日にち	延ボランティア数	延参加者数
外国ルーツの子どものためのサマーキャンプ※	8/22~24	10	29

※公益財団法人東京YMCAと共同開催。

ペアレンツカフェ(保護者のためのプログラム)

延回数	延ボランティア数	延参加者数
9	28	14

ボランティア登録数

	登録数(3月末)
ボランティア(会員)	8
" (一般)	28

ボランティア研修会

延回数	延講師数	延参加者数
0	0	0

Ⅱ-4 青少年リーダー養成

プログラム	場所	日にち	参加者数(宿泊しないものは延数)			講師等	参加人数 合計
			女	男	合計		
ワークキャンプ	野尻キャンプ場	5/3~5/6	16	7	23	0	23
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	5/27	0	1	1	0	1
ボート学科実技講習	千鳥ヶ淵ボート場	6/7	5	0	5	1	6
リーダートレーニングキャンプ	野尻キャンプ場	7/19~7/20	15	5	20	0	20
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	10/28	0	1	1	0	1
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	11/25	1	1	2	0	2
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	12/23	2	1	3	0	3
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	1/13	0	1	1	0	1
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	2/17	1	1	2	0	2
スキーリーダートレーニング	GALA湯沢スキー場	3/1	6	0	6	1	7
アーチェリー実技講習	千代田区立スポーツセンター	3/24	3	1	4	0	4

Ⅲ 女性の健康事業 (公益目的事業 事業番号：公3)

この事業は、運動の機会を必要とするすべての女性の心身の健全育成をはかることを目的とする事業です。

1. 女性の健康づくり

サポートコースは、体力の維持・向上、生活習慣病予防などの目標に向けて運動を継続できるよう一人ひとりを支援した。体組成・握力測定を行い、運動習慣や食生活などのライフスタイルの変容による効果を確認しアドバイスした。サポートコースメンバーの平均在籍者数は昨年度に比べわずかに増加した。健康セミナーは5月と10月に実施した。参加者は腹圧性尿失禁や足の不調を予防、改善するエクササイズなどを学んだ。こころの健康相談は隔月で実施した。からだの健康相談は休止した。

2. 疾患後の女性の健康づくり

乳がん手術後の女性のための「アンコア」は、プログラム開発と指導者養成を担っていたオーストラリアYWCAのアンコア終了に伴い、2024年度をもって終了した。新たに、乳がん術後の肩回りの動かしにくさを軽減し、体力の回復を図ることを目的とする水中エクササイズを実施した。アンケートでは、動きやすくなった、気持ちが前向きになったなど心身両面の効果を感じた人は多く、参加者の満足度は高かった。

腰・膝などの関節痛の予防、改善のための水中運動「ディ

ープウォーターウォーキング」は4クラスを通年で実施した。定期的な運動の継続により、関節痛の軽減や歩行、階段昇降が楽になる等の効果を感じている人が多かった。また日頃から姿勢や体調に気を配るようになった人もいた。

3. 障がい児・者の健康づくり

肢体不自由者水泳「あひるの会」は、新規参加者2人が加わり5月から開始した。参加者は水中での運動をボランティアと一緒に楽しんだ。小学生3人は少しずつではあるが泳力が上達した。残念ながら外出を支援するヘルパーの手配がつかず参加できない人もいた。ボランティアは4月に勉強会を行い、介助法、指導法などについて学びあった。

発達に遅れや偏りのある女児の親子水泳「かめさんくらぶ」は前期と後期に新規参加者が1組ずつ加わった。子どもたちは楽しみながら泳力を習得した。飛び板にチャレンジしたり、母親と一緒にプールの深さを体験したりする機会も設けた。

プールでの運動を個別指導する「アクアサポート」は利用者がいなかった。

*肢体不自由者水泳は、社会福祉法人東京都共同募金会からの助成金を運営費の一部として実施した。

Ⅲ-1 女性の健康づくり

サポートコース利用者数			健康セミナー		参加者数
延入会者	延退会者	3月末在籍者	骨盤周りのセルフケア		20
50	46	252	足のセルフコンディショニング		23
健康相談					
種別	延回数	延利用者数	種別	延回数	延利用者数
からだの健康相談 (休止)	-	-	こころの健康相談	6	6

Ⅲ-2 疾患後の女性の健康づくり

	延回数	延参加者数
乳がん術後の水中エクササイズ	8	58
腰・膝の関節痛の予防、改善のための水中運動	167	2045

Ⅲ-3 障がい児・者の健康づくり

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
肢体不自由者水泳 (あひるの会)	96	240	227
発達に遅れや偏りのある女児の親子水泳 (かめさんくらぶ)	20	218	33
アクアサポート	0	0	

IV 社会福祉に資する事業 (公益目的事業 事業番号：公4)

この事業は、一人ひとりが尊重され、その人らしく生きることのできる社会の実現を目指し、高齢者、障がい児・者とその家族、子育て家庭等の福祉の増進に寄与する事業です。

■個人・団体等のご寄付とこの法人の収益により、以下の事業を実施した。

公4-1. 療育事業 (NPO 支援)

この事業では、青年期に入り成人した障がいをもつ人に対して、NPO 法人東京YWCA福祉会が行う就労継続支援 B 型事業に東京YWCA板橋センターの一部施設を無償貸与し、職員や会員、ボランティアが事業に協力、支援を行った。

公4-2. 発達支援相談事業

発達に課題やニーズがある園児のいる幼稚園への巡回相談を行った。

公4-3. 発達支援体験事業

板橋センターで行う「にじいろ教室」は、陶芸、絵画・造形、料理、体操のクラスを通年で、夏休みにダンス教室を実施した。誰もが活き活きとした表情で活動に参加していた。

公4-4. 障がい児家族支援体験事業

障がいのある兄弟姉妹をもつ子どもと家族を対象に、親同士の情報交換の場「いどばた」ときょうだい児対象のプログラム「きらりんこ」を各々4回実施した。

板橋区との協定に基づき、区が実施した3回の講演会・イベント、区のリーフレット作成に協力した。

公4-7. 高齢者電話相談事業

「シニアダイヤル」は30年目を迎えた。ネット上の支援も増える中、言葉を交わし合う相談の場を大切にしている。ボランティアは、相談対応の質向上とより良い体制づくりのため毎月の研修を実施し、専門家の指導を受けた。新相談員研修は参加者2人で実施し、内1人が相談員として登録した。カウンセラーで日本公認心理師協会会長の信田さよ子さんをお招きし、相談活動における傾聴と依存について講演いただいた。また引きこもりの家族の会リーラの市川乙允さんに活動についてお話を伺い、相談者の状況について学びを深めた。

公4-10. 読むことが困難な人々への支援事業 (DAISY)

年間を通して視覚障がいの人に、音声DAISYを製作し届けることができた。通常の活字を読むことが困難な人への支援では、マルチメディアDAISY図書制作の作業工程を1つ1つ再確認しながらDAISY絵本の製作を継続した。

一般向けに音訳講習会とマルチメディアDAISY製作講習会を実施した。ボランティア確保に繋げるべく、終了後には参加者の見学会を実施した。

*音訳講習会とマルチメディアDAISY製作講習会は、公益財団法人愛恵福祉支援財団から助成を受けて実施した。

公4-12. 地域における居場所事業

「すまいるY's板橋」は、誰もが安心して過ごせる居場所としてフリースペースをつくり、コーラス、絵本、ハンドメイド、聖書等のプログラムを切り口に今年度から活動を開始した。4月から3月まで計85回開くことができた。ホームページや掲示板、社会福祉協議会とのつながりを介して少しずつ地域に認知され始めた。

■地方自治体の補助金または助成金事業、委託事業として以下の事業を実施した (別掲の財務諸表を参照)。

公4-1. 療育事業 (児童発達支援センター)

3年に一度の第三者評価を受審。独自の個別支援計画の実践と、ABA (応用行動分析) をベースとする支援への評価を確認した。障がい児支援の地域拠点として、区の協議会連絡会などで役割を担った。区の依頼で行なった私立幼稚園要支援児の行動観察は240人を超え、幼稚園教諭研修も担当した。

公4-5. 障がい児・者介護事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護や移動支援のサービスを行った。幅広い年齢層、様々な個別のニーズに応えた。

公4-6. 高齢者介護事業

介護保険法に基づく訪問介護を行った。限られた職員体制でも利用者の要望に応えるべく工夫を重ねた。11月の板橋セ

ンターオープンデーで「私を支えている言葉」を書くコーナーを設け、利用者の思いに触れ、相互理解につながった。居宅介護支援は7月より休止した。

公4-8. 介護予防体験事業

調布市高齢者健康づくり事業の一環である「ティーポットサロン」は、仲間づくりの場として変わらず人気が高く、定員を上回る応募があり、人数を増やしての実施となった。今年度で調布市の事業としては終了することが決まっております、今後の方向性を検討した結果、次年度は目的や形を大きく変えずに、運営方法等を工夫し継続することになった。

公4-9. 統合保育事業

開園13年目を迎えるまきば保育園は、新園長が就任した。

乳児・幼児主任も交代し、新たな職員体制のもと19人の新入園児を加えて98人の保育を行った。東京都「とうきょうすくわくプログラム」への参画、東京YWCA「『留学生の母親』運動」の留学生から母国の話を聞く等、新しい試みも行った。地域に向けてより開かれた園を目指して子育て支援事業の新たな取り組み等を模索中である。

公4-11. 学童保育事業

染地小学童クラブは国基準を上回る東京都認証学童クラブに認定、他の3学童では今年度も暫定定員として多くの子どもを受け入れた。今年度は第三者評価を受審した。放課後子供教室「あそびバ」3か所と学童と共同プログラム等を実施し、連携をとりながら運営した。

IV-1 療育事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズ ガーデン	延日数	17	19	20	22	16	21	22	18	20	17	18	20	230
	延実績利用者数	269	248	344	341	270	231	346	232	303	287	282	275	3428
	延実習生人数	0	0	11	5	2	0	0	0	0	0	0	15	33
シマウマ くらぶ	延日数	4	4	3	2	4	4	4	4	3	4	4	4	44
	延実績利用者数	42	43	30	21	41	41	36	32	31	32	45	40	434
	延実習生人数	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	2	7

*キッズガーデン:障がい児(未就学児)児童発達支援事業。 シマウマくらぶ:障がいのある小中高生のための放課後等デイサービス(土曜)

キッズガーデン			延回数	延参加者数	シマウマくらぶ			延回数	延参加者数
保護者勉強会			11	10	保護者会		9	76	
保護者参加プログラム			37	162	保護者参加プログラム		4	53	
インクルーシブ保育研修会			3	65					
連携訪問			18	-					
地域連携事業(講演会等)			1	12					

IV-2 発達支援相談事業

児童発達支援センター機能

相談支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害児支援 利用計画	契約数	97	97	97	95	95	95	97	97	97	97	97	97	1158
	請求数	5	11	13	19	0	32	26	19	16	19	17	21	198
サービス等 利用計画	契約数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	請求数	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	4

	延回数	延件数		延回数	延件数
子ども発達支援室(板橋)	-	-	OT相談室(板橋)	-	-
子ども発達支援巡回相談(板橋)	8	8	※国領センターにおける療育個別相談および、療育グループは休止。		

IV-3 発達支援体験事業

障がいまたは発達にニーズのある子どものための体験活動

		延回数	延参加者数	延ボランティア数
板橋	サポートプログラム にじいろ教室(陶芸)	22	157	21
	サポートプログラム にじいろ教室(絵画・造形)	22	151	4
	サポートプログラム にじいろ教室(体操)	11	106	10
	サポートプログラム にじいろ教室(料理)	6	40	9
	サポートプログラム にじいろ教室(夏休みダンス教室)	2	8	0

※国領センターにおける陶芸、音楽療法、サッカークリニック、カンオベア(集団生活スキル)は休止。

IV-4 障がい児家族支援体験事業

	延回数	延参加者数	延ボランティア数
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ(きょうだい児対象のプログラム)	4	23	27
障がい児「きょうだいの会」 きらりんこ上級生プログラム(きょうだい児対象)	12	3	1
障がい児「きょうだいの会」 いどばた(親同士の情報交換の場)	4	24	7
障がい児「きょうだいの会」 ふぁみりんこ(家族で交流するプログラム)	-	-	-
いっぽの会(親子参加型の自然体験プログラム)	-	-	-

板橋区と締結した「『きょうだい児』支援体制構築に関する協定」にもとづく共催プログラム

	日にち	参加者数	
きょうだい児支援講演会・交流会(親対象)	6/3	6	
きょうだい児のためのとくべつプログラム	7/26	3	
きょうだい児支援講演会(一般対象)	2/6	40※	※概数

IV-5 障がい児・者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	在籍利用者数	18	21	20	20	20	18	18	18	19	19	20	21	232
	実績利用者数	17	19	18	16	16	16	18	16	19	19	19	18	211
訪問時間	居宅介護	122.00	91.50	92.25	97.50	89.25	96.00	92.75	91.00	95.50	91.75	97.50	113.25	1170.25
	重度訪問介護	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	移動支援	24.00	30.00	30.00	24.75	18.75	18.00	32.25	20.00	25.50	26.00	21.25	23.50	294.00
	合計	146.00	121.50	122.25	122.25	108.00	114.00	125.00	111.00	121.00	117.75	118.75	136.75	1464.25

IV-6 高齢者介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護	在籍利用者数	38	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74
	実績利用者数	36	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73
	認定調査	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
訪問介護	在籍利用者数	26	27	30	25	23	27	30	30	32	26	29	27	332
	実績利用者数	25	25	29	25	23	27	29	30	31	25	27	26	322
訪問時間	要介護1~5	64	63.5	69.25	76	78.5	93.5	95.25	80.25	77	67.25	64.25	83	911.75
	要支援1~2	61	64	63.75	70.25	57.25	63.75	75.75	66.5	72	56.25	56.5	57.75	764.75
	自由契約	6.25	12.75	10.5	9.5	13.75	7.5	9.25	6.25	13.25	21.5	28.25	11	149.75
	合計	131.25	140.25	143.5	155.75	149.5	164.75	180.25	153	162.25	145	149	151.75	1826.25

IV-7 高齢者電話相談事業

シニアダイヤル(孤独などときの身近な相談相手としての電話相談)

延開室日数	延相談員数	年間相談件数
272	413	1349

研修

	回数	日にち	講師数	参加者数
相談活動における「聞き方」について(公開研修)	1	2/7	1	141
シニアダイヤル新相談員研修(全7回)	1	9/27~12/6	3	2

IV-8 介護予防体験事業

	延回数	延参加者数
ティーポットサロン(地域に開かれた交流の場)	20	560

IV-9 統合保育事業

まきば保育園(国領)	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	※実習生受け入れ (年間延べ)8人
	在籍者数(3月末)	9	16	16	19	19	19	98	

まきば保育園地域交流事業

子育て相談 (たんぼぼ広場)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延回数		7	12	12	15	9	12	14	9	10	9	11	12	132
延人数		25	41	36	94	53	53	80	49	158	62	81	88	820

その他の地域交流事業

	日にち	参加者
国領オータムフェア	9/20	500

IV-10 読むことが困難な人々への支援事業(DAISY)

ボランティア講習会

講座名	日にち	講師数 (アシスタント含)	延参加者数
音訳講習会(全9回)	1/16~3/13	1	124
マルチメディアDAISY製作講習会(全2回)	12/17、12/18	5	22

マルチメディアデジター図書製作

*新規製作なし

IV-11 学童保育事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 童 ク ラ ブ	わいわい : 定員70人(暫定定員85人)													
	在籍数	84	84	82	82	82	80	80	80	79	79	79	79	970
	開所日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292
	延べ利用者数	1435	1374	1395	1416	1000	1261	1354	1029	1234	1122	1017	1285	14922
	染地小 : 定員50人 ※東京都認証学童クラブ													
	在籍数	46	47	47	46	46	45	42	43	43	43	44	44	536
	開所日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292
	延べ利用者数	721	734	717	780	623	710	751	578	673	654	518	737	8196
	布田小第1 : 定員70人(暫定定員75人)													
	在籍数	74	72	70	68	68	68	67	63	58	57	55	55	775
	開所日数	25	24	25	26	25	24	26	23	23	23	22	25	291
	延べ利用者数	1266	1160	1178	1189	843	985	1098	785	835	824	684	871	11718
	布田小第2 : 定員70人(暫定定員75人)													
	在籍数	75	75	70	70	70	70	66	66	66	66	66	64	824
	開所日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292
延べ利用者数	1281	1163	1217	1246	860	1093	1220	923	998	994	783	1027	12805	
杉森小														
開所日数	25	24	25	26	23	24	25	23	24	23	22	25	289	
延べ利用者数	785	806	825	825	398	591	677	453	522	358	332	410	6982	
放課後 子供教室	染地小													
開所日数	25	24	25	26	25	24	25	23	24	23	22	25	291	
延べ利用者数	371	347	460	300	220	298	346	304	372	333	349	342	4042	
布田小														
開所日数	25	23	25	25	25	24	26	23	24	23	22	25	290	
延べ利用者数	623	594	751	756	412	577	790	493	642	526	424	554	7142	

V 非営利機関・団体への施設貸与事業 (公益目的事業 事業番号：公5)

この事業は、この法人の目的と共通性のある目的をもつ非営利の機関及び団体にこの法人が所有する施設を貸与する事業です。

東京YWCA会館3階及び2階を10団体に通年で貸与した。入居テナントに動きはなく、通年、満室で推移した。カフェマンホールや会議室は、非営利団体が開催する会議や講演会、資格試験会場として時間単位で貸し出した。

非営利機関・団体優先フロア(賃貸契約)

貸与先団体数	10 (12 室)
--------	------------

貸し会議室(時間貸し)

貸与先団体数	14	貸与件数	73
--------	----	------	----

VI 公益目的事業共通

次の公益目的事業はボランティアによって支えられ無事終了した。参加した人数と参加時間は次表のとおりだった。

事業名	ボランティア延人数	ボランティア延時間
I 平和と人権事業		
事業部共通事項	13	26
1 日本で学ぶ外国人留学生支援事業	849	1584
2 留学生助成事業	57	220.5
3 中国帰国者日本語支援事業	79	141.5
4 平和をつくるキャンペーン事業	108	224.5
4 女性のリーダーシップ事業	40	74
4 紛争災害時緊急支援事業	42	126
5 平和と人権に関する人材育成事業	10	16.5
6 NPO/NGO 団体への語学支援	66	129.5
I 合計	1264	2542.5
II 青少年育成事業		
1 教育キャンプ	85	4340
3 学習支援	254	745
4 青少年リーダー養成 (長野県)	39	824
	青少年リーダー養成 (都内)	18
II 合計	396	5945
III 女性の健康事業		
3 障がい児・者の健康づくり	256	378
III 合計	256	378
IV 社会福祉に資する事業		
7 高齢者電話相談事業	409	1227
10 読むことが困難な人々への支援事業	36	70.8
IV 合計	445	1297.8
合計	2361	10163.3

※単発で行なったプログラムは入っていません。

VII 収益事業および共益的な事業

1. 不動産賃貸事業

東京YWCA会館4階から8階はフロアごとに賃貸している。また1階から3階の4室も賃貸し、いずれも満室で推移した。理事会の下の中長期構想部会では貸し会議室や機械式駐車場の稼働率を上げるための検討を重ねた。

2. フィットネスクラブ事業

収益事業として運営するフィットネスクラブでは、今年度より25歳以下を対象とするメンバー種別（アンダー25）を新設、ナイトメンバーは利用時間を変更した。また運営コストの上昇に伴い、全種別の月会費を値上げした。在籍者数は前年度並みにとどまった。

スクールはプールでは水中ウォーキングやアーティスティックスイミング（旧称シンクロ）クラスが、スタジオでは中高年者が無理なく体を整える身体調整エクササイズクラス等が堅調。スタジオでのパーソナルレッスンもニーズが高く、毎月50人を超える利用があった。

ハード面ではプールやシャワーの設備に劣化や故障が多発し、修繕費用が増加している。

3. 語学事業及び教養講座事業

（休止）

4. 販売事業

会館地下のフィットネスクラブに飲料自販機を設置し、利用者へのサービス提供により、些少の手数料収益を得た。

5. 東京YWCA会員グループ活動事業

これまでの理解普及事業は、会員と将来的な会員によるグループ活動だったが、2025年度から会員によるグループ活動に変更した。

グループでの学びや交流を通して、一人ひとりのリーダーシップを培い、東京YWCAが目指す、平和な社会を実現する人を育てることを目的に事業をおこなった。前年度に続き、12月には会員交流会を開催し、それぞれのグループが活動の成果を披露し合い、豊かな交わりの機会となった。

VII-1 不動産賃貸事業

不動産賃貸（賃貸契約）2024年3月末現在

貸与先団体数	8
	(10室)

貸し会議室（時間貸し）

貸与先団体数	11
貸与件数	76

ゆかりハウス

貸与先団体数	0
貸与件数	0

VII-2 フィットネスクラブ事業

在籍数

	延入会者	延退会者	3月末在籍数
フリーコースメンバー	103	100	323
法人メンバー	0	0	1

パーソナルレッスン

	延参加者数
スタジオマンツーマンレッスン	696
プールプライベートレッスン	99
ミズノアクア	0

スクール

クラス	年間実施回数	累計参加者数	クラス	年間実施回数	累計参加者数
アーティスティックスイミングA	40	448	スイミング中級C	43	657
アーティスティックスイミングB	44	697	スイミング中～上級	43	285
アーティスティックスイミング基礎	40	579	スイミング上級	43	732
アーティスティックスイミング入門	40	400	ダイビング	40	257
水中ウォーキングA	43	711	日本泳法A	40	520
水中ウォーキングB	36	538	日本泳法B	34	207
水中ウォーキングC	44	671	身体とココロのコンディショニング	42	297
水中ウォーキングM	43	721	身体調整エクササイズ	43	599
スイミング カモメ	43	410	太極舞	43	270
スイミング フラミンゴ	36	583	転倒予防エクササイズ	28	177
スイミング初級A	44	269	バーアスティエ&バレエ入門	44	423
スイミング初級B	43	188	バレエ初級	36	206
スイミング中級A	43	693	姿勢改善エクササイズ	36	309
スイミング中級B	44	668			

VII-5 東京YWCA会員グループ活動事業

グループ登録数	グループ登録者数
28	118

(2026年3月末現在)

VIII 法人管理

VIII-1 会員数 (2026年3月現在)

	人数
成人会員 (18歳以上の女性)	520
年少会員 (18歳未満の女性)	3
成人会友 (18歳以上の男性)	21
年少会友 (18歳未満の男性)	0
賛助会員	18
合計	562

VIII-2 職員数

常勤職員 (2026年3月末現在) 108人

VIII-3 広報物

名称	発行回数/年	発行部数	単価
東京YWCA	11	1000	なし
Newsletter	2	1800	なし

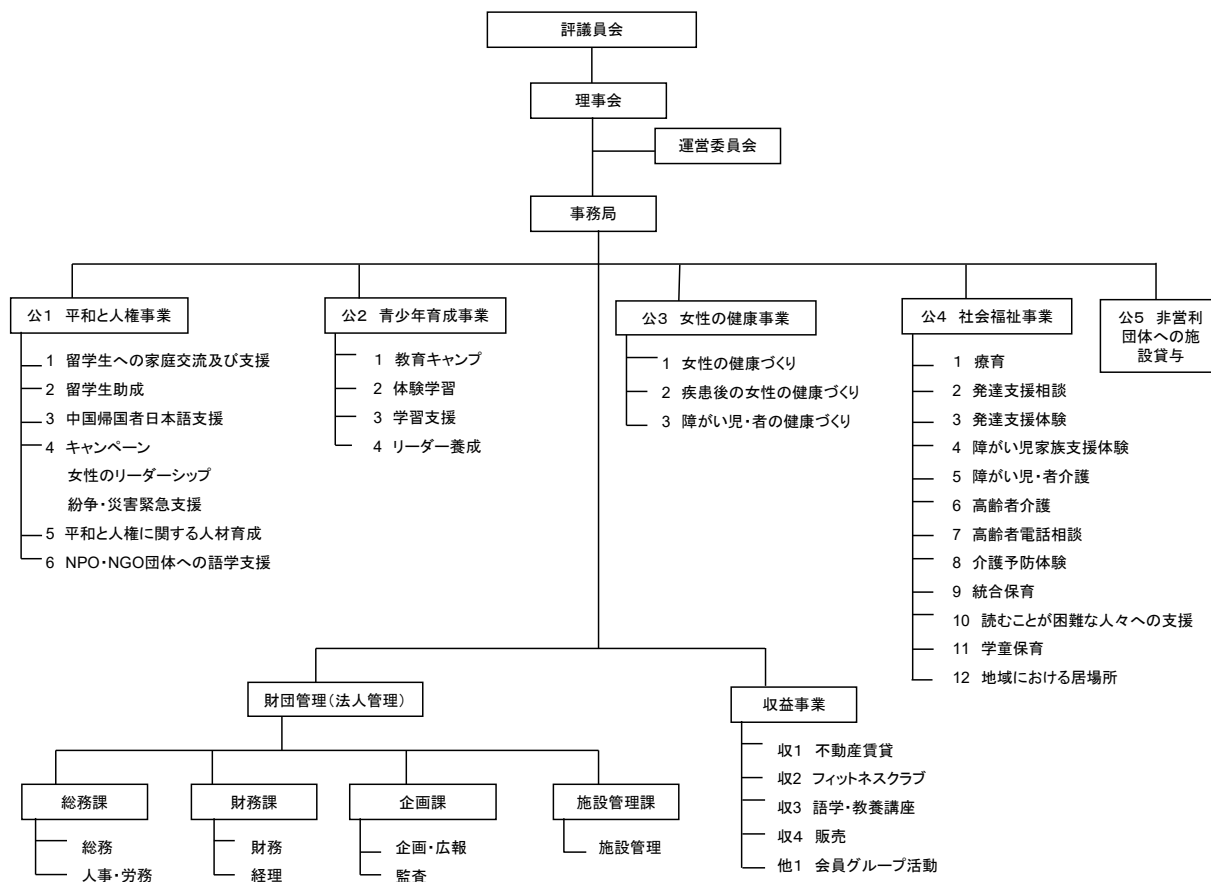
VIII-4 世界YWCA・日本YWCA関連の集会・研修等への派遣

名称	日にち	場所	東京YWCAが派遣した人数
第2回アジア・太平洋 クリスチャンユースアッセンブリー	8/19-23	韓国・パジュ市	1

VIII-5 YWCA関連の海外からの来訪者

2025/7/23 韓国YWCA 会長、会員、スタッフ 計7人

■ 2025 年度 公益財団法人東京YWCA 組織図



■ 理事・監事 (2026/3/31 現在)

代表理事 尾崎裕美子

常務理事 林(土岐)祥子

理事 稲田恵子 岸(徳永)紀子 島崎真奈美 高橋りえ子 能美祐子 柳下史織

監事 原 美樹 渡部幸代

■ 評議員 (2026/3/31 現在)

岩城紀代子 岩村太郎 内山佳子 小澤伊久美 白幡ゆき子 本田真也 町田洋子 桃井和馬
八木昭子 横田(増田)琴 吉岡光人

貸借対照表
2026年3月31日現在

公益財団法人東京YWCA

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	529,295,053	415,273,799	114,021,254
未収金	17,204,250	41,447,782	△ 24,243,532
商品	204,520	171,452	33,068
貯蔵品	0	210,000	△ 210,000
前払費用	176,000	176,000	0
前払金	4,639,487	4,304,166	335,321
流動資産合計	551,519,310	461,583,199	89,936,111
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本土地	86,917,089	86,917,089	0
基本建物	609,454,570	638,172,310	△ 28,717,740
基本建物付属設備	27	27	0
基本財産預金	141,000,000	141,000,000	0
基本財産合計	837,371,686	866,089,426	△ 28,717,740
(2) 特定資産			
建物	126,895,871	131,512,265	△ 4,616,394
建物付属設備	28,177,313	34,477,516	△ 6,300,203
構築物	4,025,939	4,403,524	△ 377,585
什器備品	1,947,462	2,095,804	△ 148,342
特定ソフトウェア	121,000	253,000	△ 132,000
留学生基金特定資産	26,475,423	26,475,423	0
留学生資金特定資産	3,330,732	3,480,732	△ 150,000
留学生奨学金特定資産	7,599,751	7,219,909	379,842
会員サポート特定資産	800,000	800,000	0
武蔵野拠点運営費積立資産	19,275,829	21,551,665	△ 2,275,836
介護職員研修特定資産	768,947	768,947	0
中国帰国者日本語教室特定資産	1,431,161	1,431,161	0
福島の子どもたちをキャンプに呼ぶ特定資産	1,821,638	1,821,638	0
預り敷金積立資産	135,039,880	135,039,880	0
フィットネス預り保証金引当資産	1,800,000	2,100,000	△ 300,000
野外環境教育預り保証金引当資産	0	200,000	△ 200,000
会館整備費積立資産	172,679,801	172,679,801	0
会館修繕費積立資産	22,214,620	22,214,620	0
板橋センター増改築特定資産	43,772,050	43,772,050	0
保育園施設・設備整備特定資産	97,000,000	97,000,000	0
プール設備改修工事積立資産	5,000,000	0	5,000,000
デジタルアーカイブ積立資産	591,263	501,263	90,000
女性と少女のための人材育成特定資産	10,200,000	10,200,000	0
教育キャンプ実施と施設整備特定資産	41,000,000	41,000,000	0
プール設備整備特定資産	0	3,964,091	△ 3,964,091
療育事業備品等設備整備特定資産	5,694,520	5,694,520	0
キャンプ場施設整備特定資産	2,636,200	1,973,000	663,200
平和キャンペーン特定資産	800,000	800,000	0
学習支援いちごの部屋特定資産	868,921	1,250,000	△ 381,079
紛争・災害時緊急支援積立資産	576,267	176,267	400,000
特定資産合計	762,544,588	774,857,076	△ 12,312,488

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
(3) その他固定資産			
土地	1,993,095	1,993,095	0
建物	145,983,658	152,460,326	△ 6,476,668
建物付属設備	642,072,742	681,755,144	△ 39,682,402
構築物	2,525,458	3,081,946	△ 556,488
車両運搬具	1	1	0
什器備品	2,706,418	3,174,146	△ 467,728
リース資産	6,510,669	11,520,729	△ 5,010,060
ソフトウェア	4	4	0
差入保証金	50,000	50,000	0
差入敷金	800,000	800,000	0
出資金	40,000	40,000	0
その他固定資産合計	802,682,045	854,875,391	△ 52,193,346
固定資産合計	2,402,598,319	2,495,821,893	△ 93,223,574
資産合計	2,954,117,629	2,957,405,092	△ 3,287,463
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	42,685,367	40,936,584	1,748,783
未払法人税等	20,576,200	6,639,100	13,937,100
未払消費税等	26,972,300	0	26,972,300
前受金	3,965,410	4,559,705	△ 594,295
預り金	4,920,021	4,046,357	873,664
1年内返済予定長期借入金	11,578,342	11,799,641	△ 221,299
1年内返済予定リース債務	5,010,060	5,010,060	0
流動負債合計	115,707,700	72,991,447	42,716,253
2. 固定負債			
長期借入金	97,560,038	109,130,359	△ 11,570,321
預り保証金	1,800,000	2,300,000	△ 500,000
預り敷金	135,039,880	135,039,880	0
長期リース債務	1,500,609	6,510,669	△ 5,010,060
固定負債合計	235,900,527	252,980,908	△ 17,080,381
負債合計	351,608,227	325,972,355	25,635,872
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	357,004,347	364,232,302	△ 7,227,955
補助金・助成金	154,836,241	156,590,297	△ 1,754,056
指定正味財産合計	511,840,588	520,822,599	△ 8,982,011
(うち基本財産への充当額)	(144,178,180)	(146,876,338)	(△2,698,158)
(うち特定資産への充当額)	(367,662,408)	(373,946,261)	(△6,283,853)
2. 一般正味財産	2,090,668,814	2,110,610,138	△ 19,941,324
(うち基本財産への充当額)	(693,193,506)	(719,213,088)	(△26,019,582)
(うち特定資産への充当額)	(258,042,300)	(263,570,935)	(△5,528,635)
正味財産合計	2,602,509,402	2,631,432,737	△ 28,923,335
負債及び正味財産合計	2,954,117,629	2,957,405,092	△ 3,287,463

正味財産増減計算書

2025年04月01日から2026年03月31日まで

公益財団法人東京YWC A

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	250,000	14,304	235,696
基本財産受取利息	250,000	14,304	235,696
②特定資産運用益	149,515	21,630	127,885
特定資産受取利息	149,515	2,712	146,803
特定資産受取利息振替額	0	18,918	△ 18,918
③受取会費	3,079,000	3,121,500	△ 42,500
成人受取会費	2,708,000	2,804,500	△ 96,500
年少会員受取会費	6,000	2,000	4,000
成人会友受取会費	105,000	125,000	△ 20,000
賛助会員受取会費	260,000	190,000	70,000
④事業収益	530,991,094	528,215,975	2,775,119
登録費収益	2,615,340	2,433,100	182,240
授業料・講習料収益	67,640,714	63,368,759	4,271,955
フィットネス会費収益	85,459,990	74,087,350	11,372,640
利用料収益	13,621,000	12,404,650	1,216,350
教材費収益	28,600	15,400	13,200
手数料収益	169,699	208,742	△ 39,043
売上収益	1,123,520	1,096,550	26,970
施設設備利用料収益	3,594,229	4,862,887	△ 1,268,658
賃貸料収益	274,535,222	271,244,707	3,290,515
障がい児者支援費収益	73,617,092	83,797,696	△ 10,180,604
障がい児者利用負担金収益	528,683	1,883,163	△ 1,354,480
相談料収益	0	17,500	△ 17,500
高齢者介護報酬収益	7,108,467	11,652,447	△ 4,543,980
高齢者利用負担金収益	948,538	1,089,124	△ 140,586
高齢者受託収益	0	53,900	△ 53,900
⑤受取補助金等	445,713,689	395,114,123	50,599,566
受取地方補助金 助成金	57,643,275	57,493,270	150,005
受取民間補助金助成金	1,116,980	2,415,596	△ 1,298,616
受取受託収益	326,384,000	306,132,070	20,251,930
受取補助金等振替額	60,569,434	29,073,187	31,496,247
⑥受取寄付金	20,839,538	38,788,770	△ 17,949,232
受取寄付金	5,257,485	7,076,946	△ 1,819,461
受取寄付金振替額	15,582,053	31,711,824	△ 16,129,771
⑦雑収益	8,125,469	9,256,175	△ 1,130,706
受取利息	1,914,699	527,961	1,386,738
その他雑収益	6,118,370	8,613,514	△ 2,495,144
受入研修費収益	92,400	114,400	△ 22,000
利用者等外給食費収益	0	300	△ 300
経常収益計	1,009,148,305	974,532,477	34,615,828
(2) 経常費用			
①事業費	985,329,328	916,617,415	68,711,913
職員給料手当	103,358,611	103,466,220	△ 107,609
職員通勤手当	3,491,751	3,520,909	△ 29,158
職員法定福利費	17,196,916	17,264,684	△ 67,768
職員中退共退職金	3,433,859	3,640,937	△ 207,078
教員給料手当	228,744,405	190,518,420	38,225,985
教員通勤手当	4,236,169	4,754,781	△ 518,612
教員法定福利費	35,901,854	30,720,490	5,181,364
教員中退共退職金	7,848,360	6,883,820	964,540

科目	当年度	前年度	増 減
非常勤給料手当	136,905,457	138,188,291	△ 1,282,834
非常勤通勤手当	5,566,723	5,735,873	△ 169,150
非常勤法定福利費	9,880,646	9,756,075	124,571
福利厚生費	1,848,808	1,641,113	207,695
手数料	7,186,830	5,944,573	1,242,257
委託費	32,352,791	32,741,811	△ 389,020
支払報酬	15,323,881	14,801,903	521,978
消耗品費	13,398,129	12,547,148	850,981
消耗備品費	170,335	0	170,335
食材費	11,070,791	10,616,361	454,430
旅費交通費	9,156,830	8,719,629	437,201
通信運搬費	6,741,508	6,842,279	△ 100,771
印刷製本費	467,967	366,854	101,113
広告宣伝費	310,200	99,000	211,200
会議費	329,593	362,842	△ 33,249
渉外費	34,055	27,515	6,540
諸会費	399,028	364,028	35,000
教材費	2,943,033	3,097,304	△ 154,271
新聞図書費	231,873	246,756	△ 14,883
研修費	112,930	177,940	△ 65,010
賃借料	3,959,762	3,868,301	91,461
リース料	7,903,199	8,197,160	△ 293,961
仕入費	871,985	861,040	10,945
修繕費	10,868,349	33,480,063	△ 22,611,714
衛生清掃費	22,057,307	20,050,242	2,007,065
光熱水費	36,717,321	60,635,973	△ 23,918,652
保険料	4,235,494	3,729,632	505,862
公租公課	119,935,489	81,303,975	38,631,514
支払寄付金	52,797	195,716	△ 142,919
保守点検料	12,328,658	11,377,947	950,711
奨学給付費	1,950,000	1,800,000	150,000
支払利息	235,980	269,100	△ 33,120
雑費	636,684	1,211,908	△ 575,224
減価償却費	104,932,970	76,588,802	28,344,168
②管理費	40,084,701	41,632,273	△ 1,547,572
職員給料手当	11,247,891	11,874,223	△ 626,332
職員通勤手当	525,051	524,543	508
職員法定福利費	2,027,762	2,037,276	△ 9,514
職員中退共退職金	50,441	70,483	△ 20,042
非常勤給料手当	970,614	1,748,327	△ 777,713
非常勤通勤手当	37,415	79,741	△ 42,326
非常勤法定福利費	90,095	511,047	△ 420,952
福利厚生費	42,287	84,760	△ 42,473
手数料	655,739	1,725,216	△ 1,069,477
委託費	5,566,629	4,328,154	1,238,475
支払報酬	1,460,821	1,517,959	△ 57,138
消耗品費	736,769	879,192	△ 142,423
旅費交通費	455,513	385,841	69,672
通信運搬費	1,382,863	1,383,431	△ 568
印刷製本費	1,898,008	2,030,454	△ 132,446
会議費	4,535	5,699	△ 1,164
渉外費	0	50,750	△ 50,750
諸会費	120,972	120,972	0
加盟分担金	4,112,000	4,221,000	△ 109,000
新聞図書費	28,590	23,185	5,405
研修費	116,100	405,000	△ 288,900
賃借料	102,366	106,365	△ 3,999

科 目	当年度	前年度	増 減
リース料	461,865	136,818	325,047
修繕費	23,088	696,088	△ 673,000
衛生清掃費	365,323	324,570	40,753
光熱水費	853,995	1,659,547	△ 805,552
保険料	327,612	301,593	26,019
公租公課	1,193,011	2,190,295	△ 997,284
保守点検料	788,556	582,426	206,130
支払利息	2,075,770	0	2,075,770
雑費	16,381	33,374	△ 16,993
減価償却費	2,346,639	1,593,944	752,695
経常費用計	1,025,414,029	958,249,688	67,164,341
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,265,724	16,282,789	△ 32,548,513
当期経常増減額	△ 16,265,724	16,282,789	△ 32,548,513
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他の雑収益	74,200	660,000	△ 585,800
その他雑収益	74,200	660,000	△ 585,800
経常外収益計	74,200	660,000	△ 585,800
(2) 経常外費用			
① 事業費	15,000	0	15,000
雑費	4,500	0	4,500
雑損失	10,500	0	10,500
② その他の雑損失	0	250,413	△ 250,413
雑損失	0	250,413	△ 250,413
③ 固定資産除却損	1	384,263	△ 384,262
建物付属設備除却損	0	360,959	△ 360,959
構築物除却損	0	23,302	△ 23,302
什器備品除却損	1	2	△ 1
④ 受取補助金等返還額	482,000	346,000	136,000
経常外費用計	497,001	980,676	△ 483,675
当期経常外増減額	△ 422,801	△ 320,676	△ 102,125
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 16,688,525	15,962,113	△ 32,650,638
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,688,525	15,962,113	△ 32,650,638
一般正味財産期首残高	2,110,610,138	2,094,648,025	15,962,113
指定正味財産の組入額	3,252,799	0	3,252,799
一般正味財産期末残高	2,090,668,814	2,110,610,138	△ 19,941,324
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益	0	18,918	△ 18,918
特定資産受取利息	0	18,918	△ 18,918
② 受取補助金等	55,562,579	57,859,560	△ 2,296,981
受取地方補助金 助成金	55,562,579	57,859,560	△ 2,296,981
③ 受取寄附金	8,354,098	3,779,514	4,574,584
受取寄附金	8,354,098	3,779,514	4,574,584
④ 一般正味財産への振替額	△ 76,151,487	△ 60,803,929	△ 15,347,558
一般正味財産への振替額	△ 76,151,487	△ 60,803,929	△ 15,347,558
当期指定正味財産増減額	△ 12,234,810	854,063	△ 13,088,873
指定正味財産期首残高	520,822,599	519,968,536	854,063
一般正味財産からの組入額	3,252,799	0	3,252,799
指定正味財産期末残高	511,840,588	520,822,599	△ 8,982,011
III 正味財産期末残高	2,602,509,402	2,631,432,737	△ 28,923,335

補助金及び助成金
2025年4月1日から2026年3月31日

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金助成金						
(公1:平和と人権)東京ウィメンズプラザ配偶者暴力防止等民間活動助成事業	東京都	0	637,000	637,000	0	
(公4)調布市民間保育所等運営費等補助金	調布市	97,000,000	61,503,779	61,503,779	97,000,000	特定資産
(公4)調布市延長保育事業費補助金	調布市	0	959,200	959,200	0	
(公4)東京都保育士等キャリアアップ補助金	東京都	0	12,015,000	12,015,000	0	
(公4)東京都保育サービス推進事業補助金	東京都	0	5,770,000	5,770,000	0	
(公4)調布市運営費等補助金(市基準・運営費)子育て広場	調布市	0	1,600,000	1,600,000	0	
(公4)調布市保全地区等の保全に関する補助金(保護樹)	調布市	0	66,980	66,980	0	
(公4)調布市高齢者健康づくり事業補助金	調布市	0	200,000	200,000	0	
(公4)板橋区障がい児療育訓練事業補助金	板橋区	0	9,426,000	9,426,000	0	
(公4)板橋区児童発達支援センターサービス推進事業補助金	板橋区	0	15,518,000	15,518,000	0	
(公4)児童発達支援センター地域支援体制確保事業補助金	東京都	0	430,000	430,000	0	
(公4)府中市民間保育所補助金	府中市	0	145,380	145,380	0	
(公4)東京都障害者施設等物価高騰対策支援金	東京都	0	266,490	266,490	0	
(公4)東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業補助金	東京都	0	2,771,000	2,771,000	0	
(公4)東京都介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業補助金	東京都	0	310,000	310,000	0	
(公4)調布市物価高騰支援補助金	調布市	0	300,000	300,000	0	
(公4)板橋区障がい者(児)福祉施設物価高騰対策支援金	板橋区	0	870,000	870,000	0	
(公4)訪問介護物価高騰対策費	板橋区	0	59,000	59,000	0	
(公4)訪問介護採用経費支援事業補助金	東京都	0	299,000	299,000	0	
(公4)民間保育所運営補助金	狛江市	0	59,025	59,025	0	
民間補助金助成金						
(公3)東京都共同募金会配分金 肢体不自由者水泳指導のために	(福)東京都共同募金会	0	300,000	300,000	0	
(公4:保育園)独立行政法人福祉医療機構借入金利子補給費	(公財)東京都福祉保健財団	0	235,980	235,980	0	
(公4:保育園)クラブサークル活動助成金	(福)福利厚生センター	0	24,000	24,000	0	
(公4:保育園)生活習慣病予防健診助成金	(福)福利厚生センター	0	57,000	57,000	0	
(公4)音訳講習会、マルチメディアデジ講習会後援支給金	愛恵福祉支援財団	0	500,000	500,000	0	
合 計		97,000,000	114,322,834	114,322,834	97,000,000	

事業を行っている主な拠点

東京YWCA会館	〒101-0062	東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
	TEL	03-3293-5421 (代表) FAX 03-3293-5570
<hr/>		
東京YWCA板橋センター	〒174-0043	東京都板橋区坂下 1-34-25
	TEL	03-5914-1854 FAX 03-5914-1852
<hr/>		
東京YWCA国領センター	〒182-0022	東京都調布市国領町 7-11-1
	TEL	042-483-5151 FAX 042-483-5207
<hr/>		
東京YWCA武蔵野センター	〒180-0004	東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-9-28
	TEL	0422-27-5871 FAX 0422-27-5872
<hr/>		
東京YWCA野尻キャンプ場	〒389-1312	長野県上水内郡信濃町富濃
	TEL	026-255-2414

公益財団法人東京YWCA

URL: <https://www.tokyo.ywca.or.jp/>

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

2026年6月発行